



雅楽と能

比較トークセッション & ライブ



“貴族文化”と“武士文化”、比べてみるともっとわかる！面白い！

雅楽と能、どちらも日本の代表的な伝統文化でありながら、漠然としか知らない方が多いのも事実です。しかし、両者の「貴族文化」「武士文化」という明確な違いに目を向けると、ふたつの伝統文化への理解、ひいては日本の伝統文化がぐっとわかりやすく、楽しめるようになります。トーク(頭)、鑑賞(目)、舞や歌のワークショップ(身体)を通して、その違いを実感し、理解を深めることを試みる、新しいタイプの講座です。

2017年

開講日

3月19日 日

時間

13:30~15:30

■ 雅楽 講師・演奏



おとなし ふみや **音無 史哉** (笙、歌、右舞)

平安の雅を追求する「花舞鳥歌風遊月響雅楽団」共同主宰。スリーピースバンド「ががくのじかん」、サラリーマン雅楽団「給湯流雅楽部」主宰。雅楽の演奏、企画、講演を行う。



さとう まなみ **佐藤 愛美** (横笛、歌)

武蔵野美術大学卒業。龍笛と琵琶を笹本武志氏、古代歌謡を豊英秋氏に師事。国内外で演奏活動を行う。「花舞鳥歌風遊月響雅楽団」共同主宰。



みくにはるこ **三國 晴子** (筆箏、左舞)

東京外国語大学卒業。筆箏を故東儀兼彦氏、西原祐二氏、左舞を東儀雅季氏、小原完基氏、琵琶を上明彦氏に師事。古典から現代音楽、即興まで幅広く活動。

内容

① トークセッション **雅楽と能はどう違うの？**

- ・歴史・由来、文化的背景
- ・楽器、装束や面
- ・歌、舞、演奏

などについて、相違点をわかりやすく雅楽と能の先生方に語っていただきます。

② 鑑賞 **聞いてみよう、見てみよう**

雅楽と能、それぞれの代表的な演目を鑑賞します。

③ 体験ワークショップ

雅楽と能の舞や歌の体験を通して、重心のかけ方や仕草の違いを体感してみます。

■ 能 講師・演奏



なかむら まさひろ **中村 昌弘** (シテ方金春流)

中央大学法学部卒業。6歳にて初舞台を踏み、現在国内外で公演。能の鑑賞講座を定期的開催するなど、能の普及活動を精力的におこなっている注目の若手能楽師。



くまもと しゅんたろう **熊本 俊太郎** (笛方 森田流)

笛方森田流、十世寺井久八郎に師事。能楽協会会員。東京能楽囃子科協議会会員。

会場：築地社会教育会館 参加費：2,500円 定員：40名

申込み方法：会館にお電話か、裏面のお申込みフォームにご記入の上、ファックス

申込み締切り：3月8日(水) 対象：18歳以上 持ち物：筆記用具

※お申込み多数の場合、抽選(3月12日までに郵送で当落の結果をお知らせします)

◆ お申し込み・お問い合わせ

築地社会教育会館 ☎03-3542-4801 (9:00~21:00)

中央区築地4-15-1 地下鉄「東銀座駅」「築地市場駅」より徒歩5分

★日本橋/月島社会教育会館・アートはるみでもお申込みいただけます



お申し込みから開講までの流れ

下記よりお申し込みください。 ※3月8日(水)お申し込み締切り

■ 築地社会教育会館窓口

※月島・日本橋社会教育会館、アートはるみでもお申込みいただけます。

※参加費は当日築地社会教育会館でお支払いください。

■ 電話またはFAX（下記問い合わせ先をご覧ください）

※お申し込み多数の場合、抽選になります。（3月12日までにハガキで当落の結果を郵送いたします）

個人情報の取り扱いについて

講座お申込時に収集した個人情報について、個人情報の漏えい・流出・不正利用がないよう適正な管理を行い、当館(中央区社会教育会館)が主催する事業以外には使用しません。

また当館が主催する講座や催し物等のご案内をお送りする場合があります。不要な方はお申し出ください

お忘れ物のないよう、お越してください。

持ち物：筆記用具、参加費

お問い合わせ先

築地社会教育会館

〒104-0045 中央区築地4-15-1

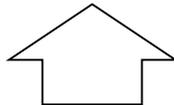
電話 03-3542-4801

FAX 03-3542-3696

■東銀座駅・築地市場駅より徒歩5分



築地社会教育会館 宛



FAX : 03-3542-3696

「雅楽と能」 参加申込書

ふりがな	
お名前	
ご住所	〒
お電話番号	
メモ	(ご希望・ご質問などありましたら、お書き添えください。)